

わーるど

第8号
2004. 3. 1

新しいALTの先生に聞きました (英語指導助手)

カロリン・ペドラー



■現任校 加古小学校・幼稚園、
天満小学校・幼稚園
■出身地 オーストラリア
■趣味 ハイキング、芸術、旅行

- ①稲美町の子供たちは、とてもフレンドリーでハッピーです。私は、子供たちそれぞれの個性を知りたいです。また、子供たちが英語の勉強に興味を持ち、楽しんでくれることをうれしく思っています。
- ②日本人は言葉をたくさん知っているし、上手に話せると思います。ただ、実際に英語で話したり、話を聞いたりできる相手が多くいません。また、カタカナ言葉に変化した英語がたくさんあります。日本人に必要なのは、英語の発音の練習だと思います。
- ③家に窓が少ないと気づいたときは、悲しかったです。うれしいのは、稲美町が平地であることです。(私は車の運転に慣れているので、稲美町で自転車に乗れて満足です！)
- ④英語が、子供たちが勉強したいと思う教科であることを望みます。そして、英語を楽しみ、がんばって取り組んでくれるといいなと思います。

- ①生徒たちは温かく、友好的で、かしこく、熱心だと思います。
- ②日本人は、もう少し英語をしゃべる機会が必要です。英語をしゃべる外国人に話し、英語を聞くことが大事で、失敗を恐れず、言いたいことを伝えることに集中すればよいと思います。
- ③日本に来ることができてうれしいです。そして、たくさんのすばらしく温かく友好的な人々に会えたこともうれしいです。主人と息子がいないので、とってもさみしいけど、3月に会えます。
- ④私は、子供たちやすべての方々とよい関係を築くことができたらしいなと思います。楽しく英語を学んだり使ったりする努力をしたいと思います。

リンダ・チェン



■現任校 母里小学校・幼稚園、天満南小学校・幼稚園、天満東小学校・幼稚園
■出身地 オーストラリア
■趣味 散歩、サイクリング

- ①稲美町の子供たちは、学校でよく頑張ります。将来、きっと成功すると思います。
- ②日本人は、英語を話す時に失敗を気にしすぎて、恥ずかしがるからだと思います。
- ③悲しかったことは、私のアパートを見て、とても狭いとわかった時です。楽しかったのは、ラングさんとリンダさんのアパートを見た時です。
- ④生徒たちが時間のあるときに、私のところへ話しに来てほしいです。また、学校の中では、他の先生と同じように接してほしいです。

ヒープ・マー



■現任校 稲美中学校
■出身地 オーストラリア
■趣味 料理、美術

- ①実際に子供たちに教えてみた感想は？
- ②日本人が英語を話せないウィークポイントはどこだと思いますか？
- ③日本に来て、楽しかったことや悲しかったことは？
- ④学校に対して望むことは？

中国の歴史・文化を学ぶ

異文化理解講座



▲「中国には29もの世界文化遺産があるので」と話す陳さん

2月7日、神戸商科大学講師の陳璐(チン・ルー)さんを講師に招いて、「中国をもっと知りませんか」と題した講座を開催。陳さんから中国の発展の歴史や最近の経済情勢などの説明を聞いた後、自由に意見を交換し交流を深めました。

【質問タイムでは】

質 中国人の気質は
質 日本のイメージは
質 一人っ子政策は
質 おすすめの景勝地は

答 集団意識より個人を大切に。
答 礼儀正しくて友好的、経済が発展している。
答 戸籍のない子どもが2億人以上いる。
答 四川省の九寨溝(きゅうさいこう)

【参加者の感想は】

- ・先生の生の声が印象的で、改めて中国に興味を持ちました。
- ・違う文化のことを直接聞くことで、とても強い印象を受けることがわかった。
- ・先生の人柄で和やかな会になってよかった。日中親善は今後も大切な課題でしょう。
- ・国が大きいだけに奥が深い。一人っ子政策は悲しいです。

8月 中学生を パース(オーストラリア) に派遣予定

将来の稲美町を担う中学生が、海外でのホームステイを通じて異文化への理解を深め、自分たちの地域の良さを再認識することは大切なことです。現在、委員会では、昨年8月に行った調査を踏まえながら、より効果があがる派遣内容について検討を重ねています。募集は4月に入ってから行う予定です。

将来的には、中学生の交流にとどまらず、多世代の交流や踊り・スポーツなど、住民レベルの交流へと輪を広げていきたいと考えています。

4月 国際交流協会 を設立予定

今、急速に国際化が進んでいます。私たち国際交流委員会も、これまで創意工夫を重ね町の国際交流の推進に取り組んできましたが、これからは、より多くの住民の皆さんの参加のもとで、より主体的に町の国際化を進めていくことが求められています。

そこで、4月29日に国際交流協会(正式名称は未定)を設立し、21世紀にふさわしい稲美町の国際交流を進めていきたいと考えています。

また、会員やボランティア募集などのご案内をさせていただきますので、皆様のご理解とご賛同をお願いします。

編集後記

今回も多くの方に参加していただき、料理教室やニューイヤーパーティを開催することができました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。より多くの方に興味を持っていただけるように、これからも様々な行事を開催していきます。「国際交流ってどんなことなの?」「ちょっと参加してみようかな」と思われた方、ぜひご参加ください。参加することからすべては始まると思います。(F)

気軽にできる国際交流ボランティア

海外旅行から帰ってきたときに使い切れなかったコイン。今度その国へはいつ行くことやら…。そんな外国コインを国際交流委員会では集めています。集まった外国コインは『ユニセフ外国コイン募金』に送り、途上国の子どもたちの支援活動に使われます。役場企画課に設置している募金箱または企画課まで郵便で送ってください。

※外国コインは日本のお金と違い、現金書留で送る必要はなく、封筒などに入れて普通郵便で送ることができます。

〒675-1115 稲美町国岡1-1
送付先 国際交流委員会事務局(役場企画課内)
外国コイン募金係あて

New Year Party

稲美町国際交流委員会



▲今日は大いに交流を深めましょう(義内委員長)

▶夏にホームステイした留学生とホストファミリーが6組参加しました(写真は中橋ファミリーとマイさん(ベトナム))



▲和んだ自己紹介ゲーム

盛大に

ニューイヤーパーティー
手作り料理を持ち寄り

▲たくさん手作り料理が並び、どれから食べるか迷ってしまいます



▲きつねの福笑いにチャレンジするALTのカロリンさん



▲けん玉っておもしろいね!

「あれもこれも食べたい」「どれも美味しそう」などと楽しそうな話し声が聞こえています。

このパーティーは、日本のお正月気分外国の人たちと交流を図ることを目的に開催したもので、ALT(英語指導助手)、町内企業に勤務する外国人、昨年夏に稲美町に来た留学生とホストファミリー、日本語講師養成講座の受講生、英会話教室の会員など、約70人が参加しました。

まず、自己紹介ゲームのあと、グループに分かれて歓談したり、福笑い、羽子板、けん玉などで遊んだりしました。

とくに好評だったのが、ポットラックパーティー(1人ひとりが料理などを持ち寄り、食べ物と会話を楽しむ)で、テーブルには、手作りの外国料理、お寿司、パン、煮物、デザートなどが所狭しと並びました。

参加者は皆「とっても楽しかったので、きっと来年も参加しようね」と言って、会場を後にしました。

日本語を習いたい
外国人はいませんか?

「日本語教室」受講生を募集

国際交流委員会では、日本語を上手に話せない外国人に日本語を教える「日本語教室」を開催します。

日本語を習いたい外国人がおられましたら、下記までお申し込みください。

(たぶん外国の方は「わーるど」を読む機会がないと思いますので、皆さんのお近くの外国の方に声をかけていただけたら助かります)

◆学習方法

先生と生徒の1対1の学習または教室型の数人で学習

◆開催日時

打合せのうえ決定(週1回2時間程度)

◆講師

日本語講師養成講座を修了した人

◆開催場所

役場会議室など

◆受講料

月1,000円
(別途、教材費5,000円程度必要)

◆申込・問合せ先

国際交流委員会事務局(役場企画課)
☎92-9130

ペルー料理

12/6

朝もやに包まれたインカ遺跡。アンデスの山々にこだまするフォルクローレのメロディー。アマゾンの密林地帯。そんな南米のイメージのすべてをもつ国がペルーです。

講師は、ペルーの首都リマ市生まれリマ市育ちのマルチネスさん。彼女は、町内の企業にお勤めで、日本名は植木ミレーネさんと言います。

参加者は、ペルーの音楽を聞きながら、代表的料理「セビッチェ」などにチャレンジしました。

【参加者の感想から】

- ・主人が日系のペルー人で、以前から興味があったので参加しました。3品教えてもらいました。家でも作って主人に喜んでもらおうと思います。
- ・シチューは、ペルー独特のテイストでおいしかったです。ペルーに来たような気分で調理できました。



タンザニア料理

11/16



今回、講師をしていただいたのは、夏に留学生として稲美町にホームステイしたグディラさん。グディラさんのふるさとタンザニアは、アフリカ大陸を横断する赤道の南に位置し、アフリカ最高峰のキリマンジャロや世界第3位の広さをもつビクトリア湖がある雄大な国です。

今回は、インドのナンに似たチャパティ(パン)と日本の赤飯に相当するピラウ(炊き込みご飯)を作りました。

【参加者の感想から】

- ・アフリカの料理は初めてで興味しんしん。チャパティの具が美味しく、家で作ってみたい。
- ・独特の香辛料が使われていて、新鮮だった。

私たちの作品も見てね!

絵画を中国へ送付

現在、中国内蒙古自治区の通遼市鉄路第二小学校と絵画交流をしています。昨年7月に書道、版画、切り絵を送っていただいたお礼として、1月に稲美町からも小中学校の児童・生徒の絵画を送付しました。

送った絵画は43点で、作品についてのコメントのほか、自分たちのクラス紹介や中国の子どもたちへのメッセージも添えられています。

この絵画交流をきっかけに、稲美町の子どもたちと中国の子どもたちとの交流がさらに深まっていくことが期待されます。



▲ふれあい交流館で展示された中国の作品